

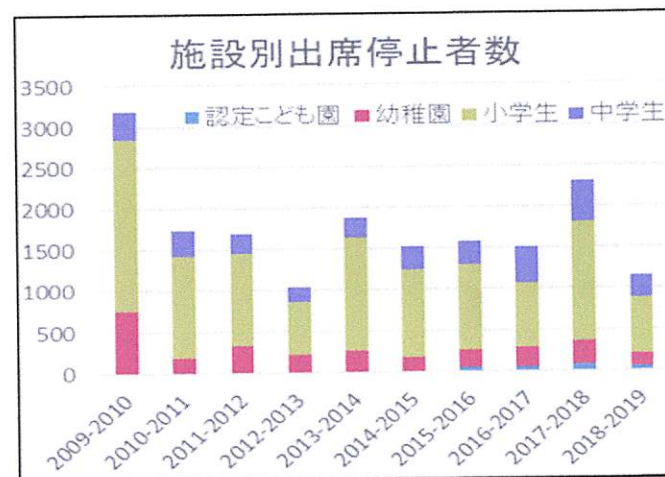
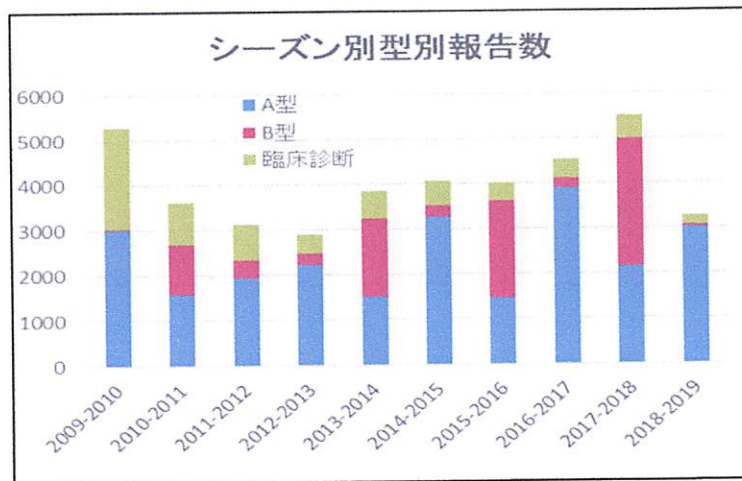
週間感染症情報

2019年17-18週 2019年4月22日より2019年5月5日まで

17週 18週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	3	
ムンプス(おたふくかぜ)	0	
百日咳		
溶連菌感染症	17	1
手足口病	17	0
ヘルパンギーナ	2	
伝染性紅斑	2	
感染性胃腸炎	52	11
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	7	1
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	3	
RSウイルス感染症		2
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス	7	
インフルエンザ(臨床診断含む)	11	7
インフルエンザA	3	2
インフルエンザB	8	5

遅くなりましたが、17週と18週の報告です。インフルエンザの報告は、多くありませんが続いています。B型の報告が多いですが、地域での大きな流行にはなっていません。下のグラフのように、今シーズンは、インフルエンザAのみの流行で終息して、報告数と出席停止者数ともに過去2番目に少なかったです。連休中の18週の報告は当番医の2施設からの4/30と5/2の報告です。いずれも小児科は70人前後で、内科と合計で110人以上で多かったです。溶連菌感染症は多い状況が続いています。手足口病は、総社市内の複数の保育園で流行しています。ヘルパンギーナは、吉備中央町の保育園の症例です。夏のウイルス性疾患が流行し始めました。感染性胃腸炎は、病原性大腸菌01、カンピロバクター陽性例がありました。嘔吐を主とするウイルス性胃腸炎も多かったです。ヒトメタニューモウイルスは、発熱が長引く例、気管支炎、気管支肺炎例が多く、入院例もあります。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)